

# 季刊 ジャネット Ja-Net

No. 50

2009年7月25日発行

● View from the Other Side .....	3
● あちこち日本語ご紹介 (東京都 渋谷区) .....	4
● あちこち日本語ご紹介 (ドイツ連邦共和国 ポッフム) .....	5
● 教材紹介 .....	6
『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』 『改訂版 トピックによる日本語総合演習 中級前期』 『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説英語版』	
● なんでも情報BOX .....	8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。[にほんごを通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーエーネットワーク

## 巻頭寄稿

# 日本語教育、そして日越関係の拡大・発展

◆ 一橋大学 留学生センター 教授  
五味政信



『みんなの日本語 初級 翻訳・文法解説 ベトナム語版』の刊行

スリーエーネットワーク社刊『みんなの日本語 初級 翻訳・文法解説』の11番目の外国語翻訳として、ベトナム語版が出版されました(『初級I』は2008年12月、『初級II』は2009年6月)。日本で学ぶベトナム人留学生数は2007年5月時点で2,600名弱となり、留学生数において中国、韓国、台湾に次いで第4位となりました(JASSOのHPより)。また、在日本ベトナム大使館によれば、滞日ベトナム人の数は全国で約37,000名とのことです。

ベトナムに目を転じますと、ベトナムでは日本語学習ブームが10年以上続いています。ハノイではハノイ貿易大学(2006年に日本語学科が学部昇格)、ハノイ大学(旧ハノイ外国語大学、2008年に日本語教育開始35周年記念シンポジウムを開催)など多くの大学に、また、ホーチミン市ではホーチミン市国家大学人文社会科学大学、私立ホンバン大学等々に、日本語を学ぶコースがあります。ベトナム中部にあるダナン外国語大学やフエ外国語大学などでも日本語教育が行われており、2006年時点でベトナム全土の日本語学習者数はおよそ3万名となっています(国際交流基金のHPより)。

日本語能力試験受験者数も確実に増加傾向にあります(05年度5,248名、06年度8,045名、07年度11,433名、08年度の申込者数16,256名)。大学だけでなく、2003年以降、ハノイ、ホーチミン市などでは中等教育においても日本語教育が開始されるなど、日本語教育は大きな広がりを見せています。大学、町の

日本語学校、企業内の日本語コースなどでは、テキストとしては『みんなの日本語 初級』が使用されることが多いようですが、ベトナム語版の翻訳監修を担当した者として、今回出版された『ベトナム語版』が今後ますます増加するベトナム人日本語学習者の効率的な日本語学習に大いに役立つよう願っています。

## 最近のベトナム事情

さて、本欄では最近のベトナム事情を幾つかご紹介したいと思います。

ホーチミン市にドンズー日本語学校という1991年設立の日本語学校があります。現在、生徒数約4,000名!とのことです。世界で有数の日本語学校の一つであることは間違いありません。この一事からもベトナムにおける日本語ブームの一端を窺うことができますが、このドンズーという名称には次のような由来があります。ドンズー(Đông Du)は漢字に直すと「東遊」。百年以上遡りますが、当時フランスの支配下にあったベトナムの知識人にとって1905年の日露戦争での日本の勝利は衝撃的な出来事でした。フランスに抗して自らの独立を勝ち取るために日本の近代化を学ぶべく、日本への留学運動が起こされ、「Phong trào Đông Du / 東遊運動」と呼ばれました。100~200名のベトナム青年が日本に留学しましたが、日仏両政府の圧力の下で挫折したという歴史があります。ドンズー日本語学校のグエン・ドック・ホエ(Nguyễn Đức Hoè)校長(日本留学の経験者)は学校の設立趣旨について「ベトナム青年の目を広く海外に開くこと、なかんずく日本に目を向けさせ、日本留学を果たし、日本の科学技術等を学ぶこと」と語っています。歴史が学校の名称にドンズーの名を冠する意味を教えています。校長秘書、伊藤晴彦氏によると、現在、ドンズー出身で日本留学した学生総数は約850名に上り、2010年には1,000名を超える予定とのことです。



建国の父ホーチミン(1890~1969)が眠るホーチミン廟

現在、日本では「留学生30万人計画」についての話題が報道されていますが、ベトナムでも「Chương trình 322 (322プログラム

ラム)」と呼ばれる計画が発表されています。この計画には2020年までに博士号取得者を2万人（ベトナム国内で1万名、海外で1万名）造出するという項目があります。2008年3月に来日したグエン・ティエン・ニャン（Nguyễn Thiện Nhân）副首相兼教育訓練大臣と文部科学省渡海大臣との間で覚書が交わされ、日本政府として海外で養成する1万人のうちの1,000名を引き受けるということになっています。ベトナムには現在約160の高等教育機関があり、在籍学生約120万名という数字が公表されています。ベトナム政府は留学生の海外派遣を積極的に奨励し、同時に国を挙げて高等教育の質の向上を目指し、さらには2020年までに世界のトップ200大学のうちの少なくとも1校を占めるという目標を有しているとのことでした。

2009年4月下旬にはノン・ドック・マイン（*Nông Đức Mạnh*）ベトナム共産党書記長が来日、麻生首相と会談し、アジアの平和と繁栄のためのパートナーシップの発展、政治・経済・文化と人の交流など様々な分野での協力事業の実施などについて共同声明が発表されています。*Nông Đức Mạnh*氏は初めての少数民族出身の共産党書記長です（ベトナムは54の民族からなる多民族国家で、最大多数民族が人口約8,500万人の90%を占める**Việt**族）。2001年に書記長に就任し、2006年に再選されて現在2期目です。*Nông Đức Mạnh*氏には書記長就任時の有名なエピソードがあります。少数民族（*Tây*族）出身の *Nông Đức Mạnh*氏が共産党書記長まで昇り詰めるということは通常は考えられないことで、氏はベトナム建国の父・ホーチミンの実子ではないかという「うわさ」が当時流れたのでした。就任の記者会見でこのうわさについて質問された書記長は「ベトナムでは誰もがみなホーチミンの子孫です」と答えて多くのベトナムの人々を感激させたのでした。

2009年の初めには「ベトナム南北縦断高速鉄道建設」に関するニュースがありました。ベトナムはインドシナ半島の東側に、ちょうどS字形を描いて位置しており、北部の首都ハノイと南部のホーチミン市間の距離はおよそ1,600 km。このハノイ・ホーチミン市間に高速鉄道を2035年までに建設するという計画です（総額558億米ドル<約5兆円>の巨大プロジェクト）。日本の新幹線、フランスのTGV、ドイツのICEを比較し、安全性・環境への影響などの点を評価し、日本の新幹線技術を選択。最高速度は時速350 km、ハノイ・ホーチミン市間を約5時間半程度で結ぶ予定とのことでした。この計画は現在のところ、このような計画があるという段階で、実施が決定したわけではないようです。財政的な問題もありますし、今後どうなるのか予断を許しませんが、今後の推移が大いに気になる壮大な計画です。実施されることになれば、ベトナムの多くの技術者が来日し日本語を学ぶこともあるでしょう。そのとき『ベトナム語版』が役に立ってほしいと思います。

### ベトナム語について

最後にベトナム語についてご紹介します。前述のとおり、ベ



ハノイオペラハウス（1910年建造。1980年第10回シヨパンコンクールでアジア人として初めて優勝したダン・タイ・ソンが凱旋帰国し、このホールで演奏会を開催した）

トナムは他の東南アジア諸国と同様、多民族国家であり、最大多数民族がベト族、そのベト族の話す言葉がベトナム語です。単音節言語であり、北部は六つ、南部は五つの声調をもつ声調言語です。ベトナムは中国漢字文化圏に属しますので、日本と同様、漢語起源の語（*từ Hán Việt* / 漢越語と呼ばれる）が数多く使われています（現代ベトナム語語彙全体の6割を占めるとも言われます）。表記文字はかつては漢字も使っていましたが、1945年以降、アルファベットです。アルファベットを一部加工した文字や11の母音を表す文字があり、アルファベットに母音記号と声調記号が付くなど、一見複雑そうに見えますが、決して難しくありません。活用がない言語ですので、動詞の複雑な活用で学習につまずくといった心配は無用です。漢越語は日本語の漢語と発音が類似している場合が多く、日本人にとって大いなる味方となります。ただ、漢越語には日本語と意味・用法が重ならない語もあります。活用がないから易しいとも言えますが、「活用がないから難しい」とも言えます。時制、アスペクトなどを表す、活用以外の仕組みがあり、学習に当たって手強い部分があることは他の外国語を学ぶ場合と同様です。ベトナムは人口8,500万人。東アジア、東南アジアでは中国、インドネシア、日本に次ぐ人口を擁します。ベトナム語はマイナーな言語ではなくなりつつあります。

昨年は日越外交関係樹立35周年（1973～2008）の年であり、ベトナム側の招待を受け、本年2月に皇太子様がベトナムを公式訪問されたという報道も耳新しいところです。日越間の関係は教育・政治・経済など、様々な分野でますます活発となる気配で、戦前戦後を通じて最も良好で活発な2国間関係を形成しつつあります。日本語学習者数が3万名に達することなど、歴史上かつてなかったことでしょう。東遊運動から1世紀を経た今日の日越関係のますますの発展を願いたいと思います。

### 五味 政信（ごみ まさのぶ）

一橋大学留学生センター教授。1979～81年、ハノイ貿易大学日本語講師。著書に『ベトナム語レッスン初級Ⅰ』『同Ⅱ』スリーエーネットワーク刊。武蔵野大学出版会より越日辞書の出版（2010年初頭を予定）を準備中。



## VIEW FROM THE OTHER SIDE

## 寿司職人にあこがれて

三浦・エイジ・ターレスさん



寿司職人にあこがれて来日したブラジル人の三浦ターレスさんにお寿司の思い出や東京の生活についてお話をお聞きしました。



—サンパウロではお寿司やさんの職人だったんですね。

5年間働きました。半年くらいは鍋洗いと米をとぐだけでした。1年たった頃お店のメニューに私が巻いた細巻きの写真が使われてとってもうれしかったです。

お寿司屋さんというよりは日本料理屋で、寿司、てんぷら、カレーなどの日本料理があります。

今は巻きもの、にぎり、刺身などだいたいものを作れるようになりました。でも一、まだ卵焼きはできない。

—サンパウロで人気のある寿司ネタはなんですか。

サンパウロで人気の寿司ネタはシャケ、スズキ、タコ。手に入りやすい食材です。味も人気があります。ブラジルでもいい魚が手に入ります。シャケはチリ産です。白身の魚やシャケが人気があります。

かっぱ巻きはブラジルでも「かっぱ」といいますが、みんな本当の言い方を知らないのていろんな発音で注文してきます。緑茶に砂糖を注文する人もいます。おもしろいですよ。ブラジルで納豆巻きを知っている人は、お客さん100人に3人くらいです。

—どうして寿司職人になったんですか。

11歳のときに日系2世の父とヤキソバを食べにいったんです。日本料理店で寿司職人がパンパンと手を鳴らして、シャリを握る姿を見て「かっこいい！」と思いました。寿司職人は誰でもなれるものではないですよ。エキゾチックな感じも魅力的でした。

学校を卒業したあと、お寿司やさんで働きましたが、どうしても本場日本で寿司の勉強をしたいと思いました。でも、日本のお寿司やさんで働くのはとてもむずかしいことがわかりました。今はパン屋で働いています。日本のパン屋のシステムは勉強することがたくさんあります。

—はじめて日本に来たときはどんな感じがしましたか。

日本人ばかり！ ブラジルにはポルトガル系、アフリカ系、イタリア系、日系、中華系、たくさんの方がいます。友達のうちでイタリアの食事をしたり、日本の食事をしたりするのはふつうです。人種を意識することはありませんでした。

日本についてはサンパウロでいろいろと話を聞いていました。だいたい聞いてきたとおりでした。でも日本の暑さは予想外でした。サンパウロの生活にはクーラーはいりません。カラリとしています。日本はあっついですねー。

—日本の生活を楽しんでいますか。

時間があれば自宅近くのヒップホップスタジオにいきます。サッカーもやりたいんですけどチャンスがありません。

(イヤホーンを見せながら)今聞いているのは宇多田ヒカル、大好きです。NHKの「サラリーマンNEO」なんかはとってもおもしろい。楽しいドラマやバラエティーが好きです。日本語の勉強にもなるし。

—お寿司屋さんで働きたいんですね。

でもそのためにはもっと日本語の能力が必要ですね。

日本に来たばかりのころ、会話やひらがな、かたかなを勉強していたころは楽しかったです。どんどん覚えられたし、だいたひ話もできるようになりました。今は漢字。漢字はほんとうに！ すごく！ 難しい！ それから会話をもっと勉強したいです。

日本語をたくさん勉強してお寿司やさんで働きたい。鍋を洗わせてもらえるだけで勉強になります。せっかく日本に来たんですから。調理師試験を受けられるようになりたいです。

日本で学んだことを国へ持って帰って自分で寿司屋を開きたいです。ネクタイに割烹着、本当にかっこいい！

三浦・エイジ・ターレス

1981年サンパウロ生まれ。日系3世、サンパウロの寿司屋で5年働いた後2005年来日。東京でブラジル料理の店やパン屋で働きながら日本語を勉強し寿司職人をめざしている。

# あちこち日本語ご紹介

## 国内編



東京都  
渋谷区  
聖心インターナショナル  
スクールの日本語教育

聖心インターナショナルスクール  
新井協子

1908年創立の聖心インターナショナルスクールは、カトリック精神に基づいた全人教育をめざす女子の外国人学校で、現在幼稚園から高校まで約50カ国から600名近い生徒が通園、通学しています。小中高は4-4-4制で、帰国子女もいますが、生徒の大半は、外国籍、あるいは、両親のどちらかが外国籍で、日本語以外の言葉を母語とし、3、4国語を操ることも少なくありません。

日本語は、フランス語とともに外国語の選択必修科目として、小3から導入。母語としての日本語（JF）と外国語としての日本語（JS）の二つの大きな流れに分けられ、日本語力によってレベル分けがあり、少人数の恵まれたクラス編成になっています。幼稚園と小学校では、日本語とは別に、クラス全員を対象に「日本文化」のクラスがあります。年中行事・歌・昔話・工作、また、お米の栽培など多岐にわたった活動が年間を通して展開され、生徒と保護者に大いに期待されているようです。中高においても、修学旅行の事前学習、百人一首大会、花見と句会、「ジャバンデー」と称するお祭り等、ホスト国の文化に親しむ機会を作っています。

JSクラスは小学校ではアクティビティが中心。ゲームや遊びの中で日本語を学んでいきます。中学（5年生）から週4時限の日本語が始まりますが、この年齢層に適切な教科書がなかなか見つからず



日本文化に親しむ「ジャバンデー」

中学では手作りの教科書、高校では、市販の大学生対象・海外の高校生対象のものを使用しています。彼女らは年齢的にすぐ日本語がマスターできると思われがちですが、生活の中で日本語を使う場面は限られていて、日本語のニーズは必ずしも高くありません。多くの生徒にとって日本は転勤などで3、4年間過ごす場であり、やっと基礎ができ、これから本格的に日本語が使える生徒が、親の都合で日本を去り、教師ががっかりするのも毎年繰り返される光景です。大切な成長期を日本で過ごす生徒が貴重な経験を積む手助けをすること、日本語を通して外国語を学ぶストラテジーを身につけること、日本文化に触れ、異なった見方を受け入れること、物事を多角的に捉え、思考力、批判力を養うことなど、年少者教育では日本語学習の目的は、日本語の習得に留まりません。

とはいつても、JSの授業では日本語のコミュニケーション能力が何よりも大切にされ、4技能のバランスよい発達に心がけます。授業時間は、1年間で合計90～100時間ぐらいですから3、4年間勉強して、やっと初級から中級への移行ぐらいに到達するでしょうか。今、JSクラスの目標となっているのが、Advance Placementの「日本語および日本文化」の試験です。これはアメリカのカレッジボードの認定試験で、高校の37科目から選択でき、日本語の試験は3年前に導入されました。大学で300時間の日本語を学んだ程度を内容として、アメリカのStandard for Foreign Languagesに基づき、ACTFLのProficiency LevelのIntermediate Low to Midを基準にし、毎年5月に試験が行われています。結果により大学の進学に大きなメリットになります。

とはいいつても、JSの授業では日本語のコミュニケーション能力が何よりも大切にされ、4技能のバランスよい発達に心がけます。授業時間は、1年間で合計90～100時間ぐらいですから3、4年間勉強して、やっと初級から中級への移行ぐらいに到達するでしょうか。今、JSクラスの目標となっているのが、Advance Placementの「日本語および日本文化」の試験です。これはアメリカのカレッジボードの認定試験で、高校の37科目から選択でき、日本語の試験は3年前に導入されました。大学で300時間の日本語を学んだ程度を内容として、アメリカのStandard for Foreign Languagesに基づき、ACTFLのProficiency LevelのIntermediate Low to Midを基準にし、毎年5月に試験が行われています。結果により大学の進学に大きなメリットになります。



キャンパス外観

JFクラスは日本語を話せる生徒を対象に第一言語としての日本語を学びます。第一言語と言っても、対象生徒は帰国子女を含む日本人ばかりではなく、両親のどちらかが日本人、あるいは日本に長く在住し、流暢に日本語を駆使する外国人も入ります。そのため文科省の教科書を使いつつも、教師は生徒のニーズに合わせて毎年柔軟なカリキュラムで対応します。日本の国語にくらべ、授業数が少なく、また、日本では小6といえば、小5まで必ず履修している生徒が大半ですが、生徒の背景や学習歴が多様で、積み重ねが必ずしもないことを前提に授業に臨みます。漢字学習、読書指導も個々の生徒のレベルに合わせているため、丁寧な指導が必要ですし、さらに、学校の授業だけで網羅できない文化的なもの、自然に生活から習得するものに欠け、きめ細かな配慮と工夫が必須です。一方、生徒の発想は実に自由で豊か、積極的に意見を述べあい、活気に満ちた授業が展開されます。

年少者を教えるチャレンジは多々ありますが、50カ国以上の生徒が机を並べて日本語を学ぶ姿は、教師にとって何よりの喜びと励みです。また、最近インターナショナルスクールの教師会が数年ぶりに復活して、協働と自己研修につとめていることもご報告いたします。

# あちこち日本語ご紹介

## 海外編



ドイツ連邦共和国  
ポッフム

ドイツでもたこ焼き!

ポッフム大学 外国語教育センター日本語講師  
浅野友紀



インターネットを使っての日本語の授業。日本のパッチャル旅行を計画中

ドイツの大学での日本語教育機関は大きく分けて日本研究学科と外国語教育センターがあります。私が日本語を教えているのは後者に当たるポッフム大学外国語教育センターです。学生の専攻は生物学や化学から法学やスポーツ学まで幅広く、物理学を専攻する学生からは日本のプラズマ研究が進んでいることを説明してもらい、生物学を専攻する学生からは日本のバイオテクノロジー研究について、宗教学を専攻する学生には日本とドイツの宗教観の違いについて色々と教えてもらいました。最近ポッフムへ移籍したサッカーの小野伸二選手と話したので日本語を勉強するというスポーツ学の学生も数人でできました。日本語を勉強する動機は様々ではあるものの、授業でのアンケート集計をすると、日本のアニメや映画、Jポップに触れる中で日本文化や日本語に興味を持ったという学習動機が第一位に挙げられます。

ポッフム大学外国語教育センターの日本語の授業は90分の授業が週に2回行われ、私は二つのクラスを担当しています。授業ではタスク中心の指導法を取り入れ、ドイツ人の日本語学習者が生活の中で実際にどのようなコンテキストに接するかを考えてタスクを作成しています。研究テーマの一つである「自律的学習を促進する日本語の授業」を行うために、言語

学習者のためのポートフォリオを学習者と共に作成し、評価の一部として導入しています。また、学習者の主体性を引き出すことのできる学習形態の一つの例としてStationenlernenも取り入れています。

これはドイツで開発された教授法で、タスク

が用意された学習ステーションと呼ばれる島を教室の中

にいくつか作り、学習者は自分の学習レベルや得意・不得意とする分野に基づき自分に必要な学習ステーションを選んでタスクを行うものです。

ポッフム大学外国語教育センターの語学の授業はヨーロッパ言語以外であっても「ヨーロッパ共通参照枠: Common European Framework of Reference for Languages」に合わせた形で学習内容や学習レベルを決めることが義務付けられています。ドイツでの日本語の授業をフランス語やイタリア語の授業と同じ参照枠内で行うことはなかなか難しいですが、共通参照枠にある「言語能力モデル」をもとに、「何を教えるか」という視点から出発するのではなく、「この授業の後には学習者が日本語を使って何ができるようになるか」、「そのためにはどのような授業内容やテーマが適当であるか」を教師として常に問いながら授業の準備をしています。

その他に学習者が少しでも日本を近く感じられるよう、インターネットを使っての授業や、映画鑑賞、現地の日本人を交えての夕食会なども行っています。6月13日にはポッフムから近いデュッセルドルフで「日本デー (Japan Tag)」という日本のお祭りが開催されました。メデ



ポッフムから近いデュッセルドルフで開催された「日本デー」の様子。コスプレや巫女の格好をしたドイツ人



ィアによるとドイツ全土および近隣諸国から約85万人もの人が集まったそうです。デュッセルドルフは欧州でもロンドンとパリに次いで日本人在住者が多い(約6,400人)都市で、日本人街では日本人的生活をドイツで送るために必要なものが全て揃います。「日本デー」を訪れた若者の多くは自作のコスプレ衣装を身にまとい、道端では巫女の格好をしたドイツ人の祈祷や、日本のビジュアル系シンガーを装ったグループのライブなどが見られ、町中が盛り上がっていました。私も日本語コースの学生を連れて「日本デー」を訪れました。ドイツの一般的な日本料理レストランではなかなか食べられないたこ焼きやオム焼きそば、ラムネなどを学んだ日本語を使って注文したり、着物を試着したり、将棋や碁を体験したりして楽しい時を過ごしました。伝統的な和太鼓を現代音楽にアレンジしたコンサートは圧巻で、自国の文化がこうしてヨーロッパで伝えられている場を共にし、喜びと誇りを感じました。

毎年数十人のドイツ人に日本語を教え、ドイツで日本人として生活する中で、彼らにとって私は日本文化を伝える「日本代表」の一人であるのかもしれませんが。その役割を果たすために更に努力してこうと改めて思いました。

# 教材紹介

『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』  
『改訂版トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』  
『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説英語版』



## 『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』

一橋大学留学生センター・言語社会研究科准教授 石黒 圭

本書は、論文やレポートなどの文章を、自然な日本語で書くことを目指す作文の教科書です。対象は、書くことに高い意欲を持つ中級学習者、作文の基礎を学びなおしたいと考えている上級学習者です。

本書の最終的な目的は、作文を提出するまえに、自分で自分の作文を校正できるようになることです。学習者であっても、母語話者であって、作文を提出する直前に自分の文章を読みなおし、読みにくいところや不自然な表現を修正することが大切です。しかし、学習者の場合、どのような点に留意して修正してよいか、その勘どころがわかりません。自分の書いた作文をいつでも見てくれる母語話者が周囲にいればよいのですが、そのような恵まれた環境にいる学習者はごくわずかでしょう。

そこで、作文を自分で校正できるようになるためのトレーニング法を日本語の教室で学ぶ必要があります。本書は、そのために書かれた教科書です。

学習者の作文を読んでいて感じることは、書いてあることは母語話者の作文よりずっとおもしろいのに、そのおもしろさが読者になかなか伝わらないということです。不自然な日本語で書いていると、内容のおもしろさが伝わらないだけでなく、作文そのものの評価まで下がってしまいかねません。書いてある内容はすばらしいのに、日本語の表現の不自然さで損をする。そうしたことがなくなることを願い、本書を書きました。

### ◆本書の特色

#### 特色その1：学習者の実際の誤用にに基づいています

本書は、学習者が実際におかした誤用をベースに書かれています。作文指導の経験のある日本語教師なら、「あっ、この間違い、あるある！」ということにすぐに気づかれるでしょう。

学習者の誤用には傾向性があります。本書の誤用例は、作文コーパスに多く見られた誤用から作られた作例です。本書の執筆者のうち、1名は、中国・韓国出身の学生を中心とした日本語学校の作文コーパスを、もう1名は、アジア・欧米・豪州など世界各地から来た大学（院）生の作文コーパスをそれぞれ持っており、その豊富な蓄積を生かして本書は執筆されました。その意味で本書はきわめて実用的な内容になっています。

#### 特色その2：語学的な誤用を総合的に修正します

本書は、「文法・文型」「文字・表記」「語彙・意味」「文章・談話」という四つの柱からなっています。これらをバランスよ

### ◆本書の構成

<b>●第1部 文法・文型</b>	
第1課 助詞の使い方	「あなたの意見を賛成だ」
第2課 言葉の形の使い分け	「クラスには多い中国人がいる」
第3課 自動詞・他動詞・受身	「お金をたまって、PCを買いたい」
第4課 呼応	「なぜならメールは手紙より便利だ」
第5課 文末表現の調整法	「留学生生活は大変だと思っている」
<b>●第2部 文字・表記</b>	
第6課 ひらがなと漢字のバランス	「漢字が書ける様になって来た」
第7課 漢字の選択と誤変換	「私の回りには若物が多い」
第8課 カタカナの使い方	「空のペットボトルを空に投げた」
第9課 読点の打ち方	「暑い中学校に野球の練習に行った」
<b>●第3部 語彙・意味</b>	
第10課 書き言葉らしさ	「肉を口にしない人もいっぱいいる」
第11課 辞書の危険性	「クレジットカードは速く普及した」
第12課 専門用語の選び方	「中央銀行は通貨を出版する」
<b>●第4部 文章・談話</b>	
第13課 文の長さや読みやすさ	「高校時代、経済に興味があった友人は、大学で短期金融市場について研究し、大学卒業後に証券会社で働きたくて、証券会社に入るためにインターンシップの準備をしている友人がいる」
第14課 指示詞による文の接続	「母には弟がいる。あの人は独身だ」
第15課 接続詞と文章の構成	「バック旅行は格安だし準備が楽だ。それなのに、ホテルの選択肢が少ないのが難点だ」
第16課 読み手への配慮	「私は犬が怖い。蛇にいらまれた蛙だ」
<b>●第5部 実践編</b>	
第17課 レポートの基本的な書き方（意見と事実）	
第18課 レポートの基本的な書き方（複雑な内容の整理）	
第19課 立場のある文章の書き方 立場のある文章の書き方	
第20課 先生宛のEメールの書き方 先生宛のEメールの書き方	

く取り込むことにより、書くために必要な総合力が身につくようになっていきます。また、書くという目的に特化していますので、書くために必要な表現選択の方法を効率よく学べるようになっていきます。

### 留学生のための ここが大切 文章表現のルール

B5判 146頁＋別冊27頁 1,680円  
石黒 圭・筒井千絵 著

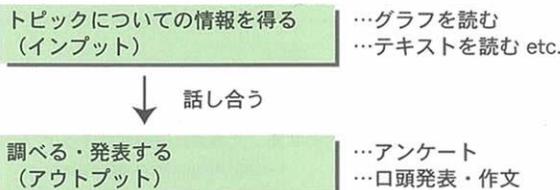


## 『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』

専修大学国際交流センター 佐々木 薫

本シリーズは、勉学・研究のための日本語運用力を養成する目的で作成したものです。初版から間もなく10年を迎えるにあたり、内容のアップデートを行いました。統計データはすべて最新のものに差し替え、本文および例文は時代の変化に合うように書き直しました。

この中級前期のテキストは初級を終了した学生を対象としています。取り上げたトピックは「旅行」「いつどこで買う」「祭り」「贈り物」「マスメディア」です。これらのトピックについてグラフ、読み物などを使って情報を得、最終的には学習者が自分の興味のあるテーマについて調査を行い、考察を加えて発表をすることを目標としています。



この一連の活動の過程で学習者は多くの収穫が得られます。第一に、語彙や表現が増え言語知識が高められます。さらに、教師との話し合いやアンケート、インタビュー調査など、人と接触することで運用力が養われ、それと同時に、情報収集、情

自分の経験をまとめる一  
写真を貼ったポスターを  
用いて発表する専修大学  
の留学生



報伝達、調査分析、原稿作成、発表などのアカデミックスキルが身につきます。また、学習者はタスクを仕上げたという達成感を持ち、更なる学習への動機づけにつながります。

専修大学ではこの学習方法をできるだけ早い段階から実施したいと考え、この中級前期のテキストを作成しました。本文はだれでも読める一般的なものにしてありますので、学習者のレベルや背景に応じて柔軟に本書を利用していただければと思います。

### 改訂版トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期

B5判 124頁 1,575円

佐々木薫・赤木浩文・安藤節子・草野宗子  
田口典子 著



## 『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説英語版』

京都外国語大学 中西久美子

『みんなの日本語中級 I 本冊』全12課、各課の「新出語」(part 1)と「文法解説」(part 2)から構成されています。

**新出語：** 新出語・会話表現・固有名詞約1,000語は各課とも出現順に提出、英語に訳されています。

**文法解説：** 各課「話す・聞く」(会話)、「読む・書く」(読み物)に出現した約100項目の文法項目(文型)について文法的な説明(英文)があります。それぞれの文法項目(文型)の意味・機能を学び、現実の会話場面、状況、あるいは読み物の文脈の中で理解を深め、運用力を身につけられるようになっています。

### ◆内容

本書は、学習者だけのための翻訳書ではありません。ボランティアや海外で教える日本語教師、日本語教師をめざす方にも使える文法の解説書です。

**文法項目：** 各課の文法項目(文型)は、中級段階の学習者に必要とされる文法シラバスをもとに組み立てられたものです。

**文法解説：** 文法解説は、学習者にとって必要最小限のものとし、例文によって、その意味・機能をより明確にし、いつ・どこで実際の場面で使えるかを示しています。

**接続と記号：** 「本冊」では、文法項目を文型で提示し、文法用語は使用せず例文で示し、接続の形がわかるように配慮しています。「文法解説(各国語版)」では、学習者が自分で接続の形を確認できるように、接続の形を示しています。また、必要に応じて文法用語を使用しています。

**参照・補足説明：** 第二言語というものは、初級からの積み上げであると同時に、スパイラルに(新しい日本語の文法を学ぶときにも、既習の内容を巻き込みながら繰り返すことによって)習得されるものです。『みんなの日本語初級』で学んだ項目や、関連事項を「参照」に示しています。また、本冊で「文法・練習」では取り上げていないが、知識として参考になるとと思われる項目には細かく説明を加えています。

### みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説 英語版

B5判 114頁 1,680円

スリーエーネットワーク 編



### ★9月発行予定

みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説中国語版

みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説韓国語版



セミナー SEMINARS



●丸善・スリーエーネットワーク共催  
2009年日本語教育セミナー③  
新刊説明会『改訂版トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』

データなどを一新した『改訂版トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 中級前期』を題材に初級から中級へ移行する上で必要な準備、中級を教える上で求められることなどをお話します。

日 時：9月5日（土）13:30～15:30  
（受付開始 13:00～）  
会 場：エル・ソーラ仙台 大研修室  
（仙台市青葉区中央1-3-1）  
講 師：佐々木薫（専修大学、『トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ』シリーズ、『日本語初級1大地』共著者）  
定 員：70名（先着順。定員次第締切）  
参加費：無料  
共 催：丸善仙台アエル店、スリーエーネットワーク  
問合せ/申込み先：丸善仙台アエル店洋書フロア  
担当：佐藤  
TEL：022-264-0151  
FAX：022-264-0112  
〒980-6101 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 1F

●兵庫日本語ボランティアネットワーク  
2009年度第1回研修会  
私について日本語で語る/書くということ

今回の研修会のテーマは、リテラシーの生涯発達についてです。『新装版 はじめのいっぽ』を切り口として、日本に定住し、生活する外国人の日本語およびリテラシーの支援について考えます。特に、言語・文化間の移動を経験した人が、複数の言語にわたる自分のライフストーリーを、どのように言語化するのか、それはいかにして可能になるのかについて、事例に基づいてお話ししたいと思います。また、リテラシー支援の方策の一つとして、オーストラリアで行われている訪問型ボラン

ほん BOOKS

本誌に表示した価格は税込価格です。

- みんなの日本語 中級 I 翻訳・文法解説英語版 発売中 1,680円
- みんなの日本語 初級 II 翻訳・文法解説ベトナム語版 発売中 2,100円
- 日本語 初級1 大地 文型説明と翻訳 中国語版 発売中 2,100円
- 日本語 初級1 大地 文型説明と翻訳 韓国語版 発売中 2,100円
- 改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ  
中級前期 発売中 1,575円
- 改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ  
中級後期 9月発行予定 1,575円
- みんなの日本語 中級 I 翻訳・文法解説中国語版 9月発行予定 1,680円
- みんなの日本語 中級 I 翻訳・文法解説韓国語版 9月発行予定 1,680円

ティアについても紹介したいと思います。

日 時：9月13日（日）13:00～15:30  
（受付開始 12:30～）  
会 場：神戸市青少年会館研修室  
（神戸市中央区雲井通5-1-2）  
講 師：谷口すみ子（中央大学講師、『新装版 はじめのいっぽ』共著者）  
定 員：50名（先着順。定員次第締切）  
参加費：1,000円  
（兵庫日本語ボランティアネットワーク会員：500円）  
共 催：兵庫日本語ボランティアネットワーク、スリーエーネットワーク  
申込/問い合わせ先：長嶋昭親（兵庫日本語ボランティアネットワーク）  
FAX: 078-752-8415  
E-mail: buadu406@hi-net.zaq.ne.jp

さい。

主 催：北海道日本語教育ネットワーク  
共 催：スリーエーネットワーク  
問い合わせ先：北海道日本語教育ネットワーク  
E-mail: hokjpnnet@lapis.plala.or.jp  
http://www12.plala.or.jp/hokjpnnet/

●凡人社大阪営業所 日本語サロン  
『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』

本書は、論文やレポート、日常の文章などを自然な日本語で書くことを目指す教科書で、日本語中級・上級レベルの学習者が書いた文章をもとに、学習者が間違えやすい文法や表現を集めて作ったものです。今回の説明会では、本書を使った「中上級レベルの文章表現の指導法」について、参加者の皆様とともに考えていきます。

日 時：11月14日（土）14:00～16:00  
（受付開始 13:30～）  
会 場：愛日会館  
（大阪市中央区本町4-7-11）  
講 師：簡井千絵  
（東京工業大学統合研究院ソリューション研究員、『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』著者）  
定 員：80名（先着順。定員次第締切）  
参加費：1,000円（当日会場でお支払いください）  
主 催：凡人社  
協 力：スリーエーネットワーク  
申込先：①住所②氏名③電話番号④所属を明記の上、凡人社大阪営業所宛にお申込みください。  
TEL: 06-6264-8140  
FAX: 06-6264-8152  
E-mail: yyoshida@bonjinsha.co.jp

●本誌をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします（国内のみ）。『Ja-Net』第51号は10月25日発行です。

●北海道日本語教育ネットワーク研修会  
中級レベルの指導法—『みんなの日本語中級 I』を利用して—

様々な日本語教育の現場で初級終了後、中級をどう教えたらいよいよか迷われている方は多いと思います。今年度の研修会では『みんなの日本語中級 I』を利用して、初級との違いを含めた中級レベルの指導法について、本書編集協力者の石沢弘子先生をお招きして、参加者の皆様とともに考えていきます。

日 時：9月19日（土）14:00～16:00  
（受付開始 13:30～）  
会 場：国際ホール  
（札幌市中央区北4条西4丁目 札幌国際ビル8F）  
講 師：石沢弘子（目白大学外国語学部日本語学科教授 日本語教育センター長、『みんなの日本語中級 I』編集協力者）  
参加費：ネットワーク会員無料、非会員800円（資料代として）  
申込み：不要、当日そのまま会場にお越しください

Ja-Net 季刊ジャネット No. 50

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2009年7月25日発行  
●発行人 小林卓爾  
●発行所 (株)スリーエーネットワーク  
営業広報部 Ja-Net 編集室  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル  
TEL 03-3292-6193 FAX 03-3292-6194  
http://www.3anet.co.jp/  
●印刷 日本印刷 (株)  
© 2009 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)